



CONTENTS

- * 英文校閲助成
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト (出前講義・研究室見学会)
- * 図書紹介
- * カモミール月曆
- * 保育園たより



 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

英文校閲助成

2015（平成27）年度に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業の一環として、女性研究者の研究力向上を目的に、学術雑誌への論文投稿に必要な英文校閲費を助成します。

< 申込期間 >

2019年8月5日（月）～ 2019年 **9月6日（金）**

< 応募資格 >

岐阜大学に所属し、国際誌に英語論文を投稿する女性研究者（常勤の教員に限る。）研究分野は問いません。ただし、原則として投稿する論文の筆頭著者であること。

< 助成金額 >

1件につき3万円を上限とする。ただし、予算の関係上、申込多数の場合は受付順を考慮のうえ減額する場合があります。

< 助成対象 >

2019年8月5日から2019年12月31日の期間内に学術雑誌（Web of Science Core Collection登録誌に限る）への投稿用論文の英文校閲を行い、納品および委託業者への支払いが完了するもの（申し込み以前に支払いが完了しているものを除く）。申請は1人につき1件とし、過去に本助成を受給していない研究者および他の外部資金（科研費など）を持たない研究者に限ります。

応募方法などの詳細は、男女共同参画推進室WEBでご確認ください。

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

カモミール月曆（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロック会議

岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社との連携事業「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」（「清流の国 輝くギフショ 支援プロジェクト」）が、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ（連携型）」（2015年度～2020年度）に採択されて、早くも4年の月日が流れました。これまで数多くの方々のご支援ご協力を得て、4連携機関の多様な設置主体（国立・市立・私立・民間企業）の特長を活かし、女性研究者の研究環境整備、研究力向上、上位職登用に向けてさまざまな取り組みを展開してきたことは、「かもみーる通信」でも頻繁にご報告してきたとおりです。

その「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業に、昨年度、「全国ネットワーク中核機関（群）」の種目が設定され、女性研究者の活躍促進を図ることを趣旨とする全国の大学ネットワーク組織が構築されています（幹事機関：大阪大学、協働機関：東京農工大学、日本アイ・ビー・エム株式会社）<https://www.opened.network/>。北海道から九州・沖縄まで全国8ブロックに分かれての活動も展開されており、7月17日（水）ANAクラウンプラザホテル金沢にて、2019年度 第1回 全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロック会議が開催されました。

以下に、当会議で紹介された東海・北陸ブロック16参画大学の取り組みと成果のなかから、紙幅の都合により、メインとなる特記事項に限ってご報告します。詳細については、各大学の男女共同参画ホームページをご覧くださいませでしょうか。構成員の皆さんに、他大学における女性研究者育成・支援に関するさまざまな取り組みについて、情報を共有していただければ幸いです。

- 教育研究評議会の女性割合が2割以上となるよう学内規定を改正【名古屋大学】
- 学長・理事・副学長によるイクボス宣言、イクボス講演会【三重大学】
- 2019年2月ダイバーシティ宣言【名古屋市立大学】
- OG人財バンク、「ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾」
【名古屋工業大学】
- 臨床系女性教員特別短時間勤務（1週間の勤務時間を24時間）【愛知医科大学】
- 子育て中の医師について勤務時間を軽減【藤田医科大学】
- 2018年度女性研究者比率が向上した大学、国大協ランキング4位【豊橋技術科学大学】
- 復職プログラム作成・運用による復帰促進【浜松医科大学】
- 多目的保育施設、学童保育一時保育支援制度【静岡大学】
- 育児・介護コンシェルジュの配置【福井大学】
- 工学系学科の女子学生比率向上【公立小松大学】
- 育児休業中および育児休業復帰教員についての評価への合理的配慮
【北陸先端科学技術大学院大学】
- 病児保育室、院内保育園【金沢医科大学】
- 工学系大学、看護学部の開設、女性研究者による展示会の開催【富山県立大学】
- 海外短期留学助成、「未知に挑む女性研究者」賞（学長賞）、「スマートポリネーター」（理系女子大学院生チーム）の学長任命【富山大学】
- 理工系分野のすべての人事において女性限定公募【金沢大学】

サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

7月1日(月)、岐阜県立大垣工業高校において大学院生の松本昇子さん(自然科学技術研究科 修士課程2年)が出前講義(第139回)を実施しました。松本さんは、「私の進路—大学生を終えて思うこと—」と題して情報技術科2年生(29名)を前に、大学生活や研究内容、そして幼少期から現在に至るまでの興味関心と進路選択の経緯などについて語り、生徒たちは約1時間の講義に熱心に耳を傾けました。

講義後のアンケートには、「大学進学について迷っていたが、講義を聞いて進学したくなった」「研究の話だけでなくサークル活動やアルバイトの話も聴くことができ、分かりやすかった」「自分以外の他人の経験にこれまで興味がなかったが、有意義な話を聴くことができ、ありがたく、面白かった」など、高校の先生とは立場や視点の異なる松本さんの経験やアドバイスは、高校生たちにとって大いに参考になったようです。



男女共同参画推進室では、2019年度の出前講義実施校(岐阜県内)を受付中です。
男女共同参画推進室WEBの「出前講義」をご確認のうえ、お気軽にお問合せください。

研究室見学会(発展型出前講義)

7月18日(木)、岐阜県立長良高校2年生(理系クラス)女子生徒40名が岐阜大学を訪問し、今年で8回目となる研究室見学会を開催しました。

見学会では、4つの見学コースに分かれて工学部および応用生物科学部の計4研究室のなかから2研究室をそれぞれ見学しました。各研究室では、施設や実験装置などを見学したほか、各研究室に所属する女子大学院生が研究内容の紹介や大学・大学院での学生生活などについて説明しました。

研究室見学会後の交流会では、「オープンキャンパスで見るべきポイントはどこですか?」「英単語を覚えるコツは?」など、大学受験を来年に控えた女子生徒から様々な質問が上がりました。



▲ イントロダクション



▲ 園芸学研究室



▲ 動物発生工学研究室



▲ 村井利昭研究室



▲ 自然エネルギー研究室



▲ 交流会

【参加女子大学院生】

自然科学技術研究科
生物生産環境科学専攻
小川 史衣

自然科学技術研究科
生物生産環境科学専攻
草薙 志穂

自然科学技術研究科
生命工学化学領域
土屋 有希

自然科学技術研究科
エネルギー変換領域
松井 友梨

図書紹介

『ワークデザインー行動経済学でジェンダー格差を克服するー』

イリス・ボネット著（池村千秋訳、大竹文雄解説）2018年
NTT出版 2700円+税 ISBN：978-4-7571-2359-5



本書では、「悪いデザインは悪い結果を生む」「バイアス（偏見）は、私たちの頭の中に根を張っているだけでなく、制度や慣行にも根を張っている」（6頁）ことから、誰もが平等な条件で才能を開花できる環境を作り出すとともに、組織が最良の人材を確保するためのデザインについて、様々な事例を通じて紹介しています。

その典型的な例として、オーケストラの採用試験があります（3～4頁）。アメリカの5大オーケストラでは1970年代後半までは女性演奏家の割合が5%程度と少なかったのですが、「ブラインド・オーディション」（採用試験で審査員と演奏家の間をカーテンなどで遮り、演奏者を審査員に見えないようにする）を取り入れた結果、女性演奏家の採用比率は飛躍的に増加し、いまや一流オーケストラの女性比率は35%以上になっているとのことです。

私たちは、能力評価や人材育成の場面で無意識のバイアスから少なからず影響を受けている、と著者は指摘します。「私たちの社会にデザインと無縁の場はない」（9頁）。本書を読めば、私たちの無意識のバイアスが引き起こすジェンダー格差を緩和そして克服するための方法について、より理解を深めることができるでしょう。（落合絵美）

保育園たより

きりん



ぱんだ



りす



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

